

日本橋の建築更新期における仮設景観の在り方に関する研究

宇野研究室

4106100 若井 拓人

1. 研究の背景と目的

高度成長期は現在に比べ建物も少なく、建設工事時の仮設計画は、工事現場の内外を区切るだけの役割にすぎなかった。しかし現在の東京都心部のように、高密度に建物がひしめくエリアでの建設工事において、周辺環境への配慮は見過ごすことができない問題となり、仮囲いをはじめとする仮設計画において、周辺環境を考慮した計画が増えてきている。(図1)

既存建築が更新期^{註1)}をむかえ、建設工事が今後も増えていくと考えられる日本橋地区において、増加する仮設景観^{註2)}は、街並みを形成する重要な要素と十分成り得ると考えた。

本論文は、今後の仮設景観の在り方を探るため、日本橋地区における仮設景観の現状とその影響力を把握するとともに、仮設景観のデザインの有無が周辺の人々に対してどのような影響の差異を生むかを明らかにすることを目的とする。

2. 研究対象 (図2)

日本橋地区において、2009年7月15日現在更新中の60件を対象とした。

3. 研究方法

- ① 現地調査 (60件)
- ② 可視領域マップ作成 (特異2地区^{後述参照})
- ③ アンケート調査 (特異2地区・施工関係者)
- ④ ①②③より総合的に考察。

4. 現地調査 (60件)

4-1. 現地調査概要

日本橋地区における仮設景観の現状把握のために、2009年8月14日から9月11日までの間3回に分けて現地調査を行った。予め中央区に提出された標識設置届^{註3)}を基に更新地を特定し、その後調査に移った。調査では施工概要と仮設景観の情報をシートにまとめた。(表1)



▲図1 周辺環境を考慮した計画 (左:緑化 右:アート)

▼表1 施工現場別シート

01234 日本橋を 56789 語る数字									
2	用途地域 商業	主要用途 店舗・劇場	工事種別 新築	階数 2F	敷地面積 2,654.4㎡	建築面積 2303㎡	延べ面積 4,642.91㎡	着工予定 20.12.20	竣工予定 22.7.6
名称(仮) 室町東地区開発計画(2-2地区)		所在地 室町2-2-1~7	建築主 三井不動産(株)		設計 (株)日本設計		施工 清水建設(株)		
仮囲い種別 フラット型鋼板	仮囲い デザイン あり	デザイン種別 アート	原資発生種別 垂直ネット	原資発生 デザイン なし	デザイン種別				

4-2. 現地調査考察

更新状況に関しては、日本橋地区内にもばらつき^{註4)}が見受けられた。また、主要用途に関しては事務所(30件)が最も多く、次に集合住宅(26)店舗(21)^{註5)}であった。仮設景観に関してはデザイン(アート)の施された仮囲いが(2)と少なく企業広告(2)物件広告(4)無地(42)^{註6)}という結果だった。また、デザイン(アート)の施された仮囲いの設置場所が、大規模開発かつ店舗であったのに対し、企業・物件広告は中小規模の集合住宅や事務所であった。調査結果から仮設景観の配慮には施工物件の規模と用途の2つが影響すると推測できる。(図3)

4-3. 特異2地区抽出

前節の調査に基づき、特徴の異なる室町地区と浜町地区の2地区を抽出した。(図4) 次章以降、仮設景観のデザインの有無と周辺の人々の意識の関係性を探るべくこの2地区に着目し分析を進める。

5. 「可視領域マップ」作成

5-1. 作成目的

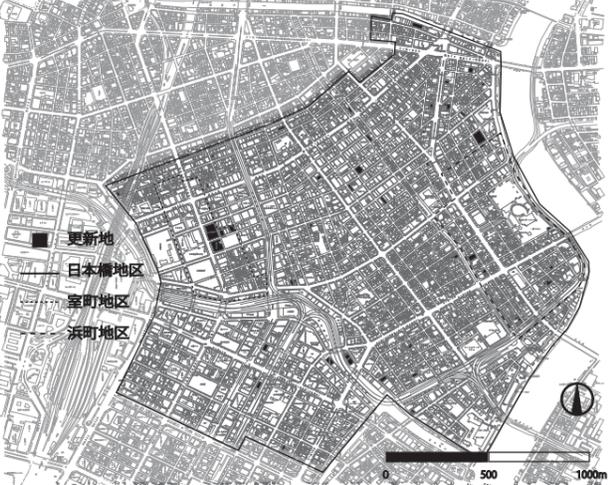
仮設景観の街並みに占める割合や影響範囲を可視化すること。

5-2. 作成方法

- ①歩行者の視線(歩道に平行/@30m/GL+1500)よりCanon IXY DIGITAL 800ISにて静止画撮影。(図5)
- ②Photo Shopにおいて、写真全体に占める仮設景観の割合を算出。^{註7)}
- ③値を地図上に落とし込み、可視範囲を塗りつぶす。

5-3. 「可視領域マップ」考察 (図6)

室町地区においては街全体の約4割^{註8)}浜町地区においては約2割^{註9)}の場所で仮設景観の影響をうけるという結果が得られた。マイナスな印象を与えてしまいがちな工事現場にとって、数値以上の印象を周辺環境に与えていることも考えられる。実際に人が歩いて感じる仮設景観の多さとは



▲図2 研究対象

必ずしも等しくならないが、約2~4割の街の表情の形成に関わる仮設景観は街並みを形成する重要な要素であるといえる。

6. アンケート調査

6-1. アンケート調査概要

本章では実際の現地の声聞き、前章までの調査結果と比較しながら、今後の仮設景観の在り方について総合的に考察していく。アンケートは、2009年10月4日から16日までの間3回に分けて実施。対象者は室町地区一般人・浜町地区一般人・施工関係者の各10名、計30名に行った。

6-2. アンケート調査考察

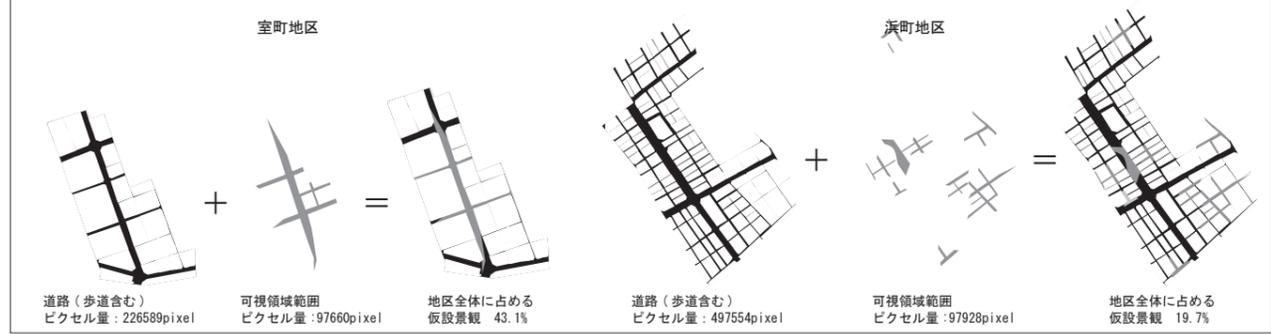
アンケート調査結果(表2)質問①より感覚的な面からも日本橋地区での建設工事の多さを確認することができた。また、質問②より今後の仮設景観に対する期待感も多に見受けられる。質問⑤より特異2地区を比較すると顕著な結果が現れた。仮設景観のデザイン有の室町地区の工事印象が良いに傾いたのに対し、浜町地区では工事現場の負の印象が先行し、悪いという答えが多かった。大規模な開発を行う室町地区でこのような結果を得たことは周辺環境を意識した仮設景観が周囲に受け入れられているためだといえる。しかし現実的には質問④の施工関係者の回答からもわかるように、コスト面の問題が存在する。

7. 結論

- これまでの分析から、以下のことが結論付けられた。
- ・現地調査より、現状の仮設景観は施工物件の規模と用途に大きく影響を受ける。
- ・現地調査とアンケート調査より、日本橋地区において物理的、心理的両面から建設工事の多さが明らかになった。
- ・可視領域マップの結果より、仮設景観が視覚的に大きな影響力を持つことを可視的に確認できた。
- ・アンケート調査より、仮設景観のデザイン有無は人々の工事現場への印象に大きな差異を生む。

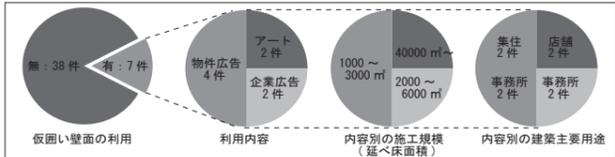
以上本研究で得られた4つの知見から、仮設景観は街並みを形成する重要な要素と成ることを立証した。

仮設計画が成される過程で、デザインに投じるコストには大きな制約があるがメリットも多いにある。今後は更新後の更なる発展を考慮した、日本橋 PR のための価値のあるコストとして前向きに捉え、日本橋地区全体として仮設景観の在り方を見直していく必要性を、ここに主張したい。

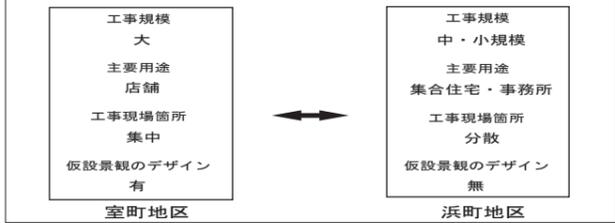


▲図6 可視領域マップ

脚注:1) 現在中央区日本橋地区において、多くの建築が更新期を迎えており、建て替えが必要とされている。「中央区ホームページ・地区計画見直しについて」より。2) 仮設構造物(建設工事において、本設構造物を構築する際に必要となる一時的に設ける構造物)によってつくられる景観。と定義する。3) 標識(近隣関係住民に計画内容をよく知ってもらうために建築計画のお知らせをするもの)を設置する際に、区に提出されるもの。4) 大半の地区が工事件数計1~4件であったのに対し、浜町地区11件、東日本橋地区9件という結果を得た。5) 主要用途に関しては、複数の用途を含むものがあるため合計の値が60件を超える6) 仮囲いに関しては、調査段階で仮囲い未設置箇所あるいは工事中箇所があるため合計60件を満たしていない。7) 写真全体における仮設景観の写りこみの割合が1%未満のものは、不可視とし切り捨てた。8) 道路(歩道含む)ピクセル量:226589pixel÷可視領域範囲ピクセル量:97660pixel×100=43.1%より室町地区の約4割の場所で仮設景観の影響を受けることが確認できた。9) 道路(歩道含む)ピクセル量:497554pixel÷可視領域範囲ピクセル量:97928pixel×100=19.7%より浜町地区の約2割の場所で仮設景観の影響を受けることが確認できた。参考文献1) 日本建築学会「仮設構造物計画の手引き」2009 日本建築学会2) 韓亜由美+ステュディオオランダデザイン「工事中景 ケンセツガンパノデザイン」鹿島出版会3) 中谷将「工事現場と地域をつなぐコミュニケーションメディアとしての仮囲い」日本建築学会大会学術講演梗概集2009年9月



▲図3 仮囲い利用状況



▲図4 特異2地区の比較



▲図5 可視領域マップ-撮影写真

▼表2 アンケート調査結果

対象	① 最近日本橋地区において建設工事が多いと感じる。 ② 周辺環境を意識した仮設計画が増えていく必要性を感じる。 ③ 工事現場の周辺環境を意識したものや、人々を惹き付けるような仮設計画があることを知っている。										
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
全体 (30名)	22名	7名	全体 (30名)	25名	5名	全体 (30名)	22名	8名	全体 (30名)	22名	8名
室町 (10名)	9名	1名	室町 (10名)	9名	1名	室町 (10名)	7名	3名	室町 (10名)	7名	3名
浜町 (10名)	8名	2名	浜町 (10名)	9名	1名	浜町 (10名)	6名	4名	浜町 (10名)	6名	4名
施工 (10名)	6名	4名	施工 (10名)	7名	3名	施工 (10名)	9名	1名	施工 (10名)	9名	1名
▲結果①			▲結果②			▲結果③			▲結果④		
全体 30名	④ ③のような試みをどのように思いますか。 ■施工関係者 ・コストに響かない範囲でならやりたい。・現場の印象が変わって良い。 ・商業施設、大規模工事などはやるべき。そういった決まりごとがあっても良いのかも… ・もっと見てみたい気がする。避けられがちな現場の雰囲気が変わるかもしれない。 ・見て面白いがコスト面が問題。・一般人(周辺住民)の立場を考えるととても良いことだと思う。 ・現場に負担(コスト)がかからないように、こういったものを計画できれば良い。 ・工事関係者にとっても楽しいし、仮設計画が楽しくなる。・場所にあってれば良いと思う。 ■一般人 ・周囲に向けた心遣いの考え方がとても良いと思う。・街の歴史を書くなどは、地域と一体感があって良い。 ・緑化などはとても良い。・真っ白は無機質でつまらないのでどんどん計画してほしい。 ・所詮「絵」かもしれないけど、とても良いし効果がある。ただの工事風景より全然良い。 ・とても良い。こういうものがあることは知っているが、実際にあまり見たことがないの ・どうせ工事が増えるなら、このようなものが増えたほうが嬉しいかもしれない。										
室町 浜町 各10名 計20名	⑤ 周辺の工事現場の印象をどのように感じますか。										
	非常に良い	良い	どちらともいえない	悪い	非常に悪い						
室町 (10名)		5名	4名	1名							
浜町 (10名)			3名	5名	2名						
	■室町地区 ・周囲への心遣いを感じる。・「良い」とまではいえないが、工事現場の「悪い」印象はさほど感じない。 ・確かに工事現場に良いことはないけど、その分の気配りが感じられる。・地域と密接な感じがする。 ・絵が書いてあっておもしろかった。・通行人にとっては、何もないよりは楽しく感じる。 ■浜町地区 ・よく見る普通の風景だと思う。・周辺の住民に対しての配慮が特がない。・騒音などの悪い印象ばかり目につく。 ・良い要素はない。・近所が工事中で、騒音やほこりっぽい。・周辺住民のことをもう少し考えてほしい。										